

法学研究科修士課程 カリキュラム（研究者養成コース）

- 1、法学政治学における幅広く精深な学識とともに、外国の理論及び制度、隣接する学問分野等に関する知見を修得する。
- 2、多角的な視点から創造的な研究を行い、その成果を高い論理性及び実証性を備えた論文にまとめることができる優れた研究能力を得る。
- 3、高い倫理性と強い責任感をもって、自らの研究が人や自然との調和ある共存にかなうものであるかを絶えず吟味する力を身につける。



修士論文

当該専門分野における学術的意義、新規性、創造性および論理的整合性等を備えた論文の作成

+

以下の授業科目及びリサーチ・ペーパーから22単位以上（自分の専門研究分野の授業科目から4単位以上）、かつ、論文指導8単位の修得

専門研究分野

基礎法学

日本法史 法思想史
西洋法史 法社会学
ローマ法 英米法
東洋法史 ドイツ法
法哲学 フランス法

公法

憲法1～3
行政法1～3
租税法
国際法1・2
国際機構法

民刑事法

民法1～5 民事手続法1～3
商法1～3 国際私法
企業法 国際取引法
経済法 刑法1・2
知的財産法 刑事手続法
労働法 刑事学
社会保障法 刑事法政策

政治学

政治学 比較政治学
政治思想史 アメリカ政治
政治史 政治過程論
日本政治外交史 行政学
国際政治学 公共政策
国際政治経済分析

その他、特別科目（英語による授業など）が開講される。

指導教授による研究指導

2
年
次

1
年
次

入学者には、学部レベルにおける法学政治学の基礎的・原理的知識を身につけていることに加えて、専門分野における研究を遂行するための能力が求められる。